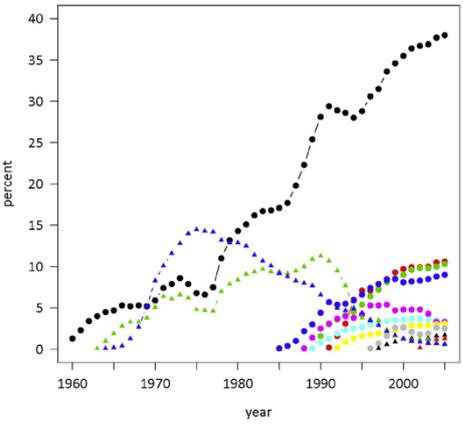
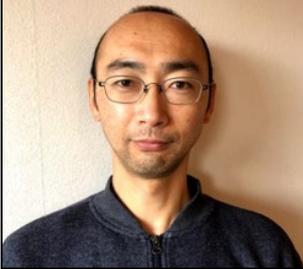
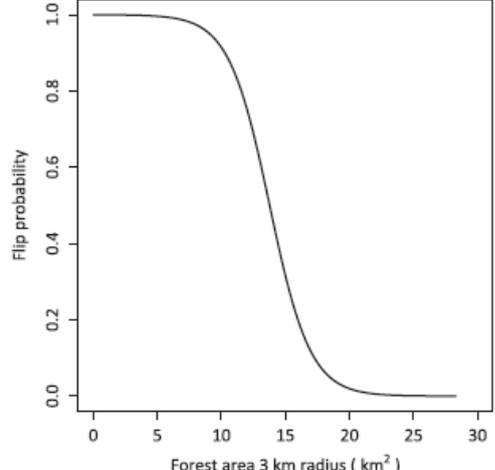


<p>経済・経営</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p>□ 自然資本の社会経済的価値評価</p>
<p>key word</p>	<p>課題解決に役立つシーズの説明</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 生態系の連環 ■ 生物多様性 ■ レジリエンス ■ エネルギーと環境負荷 ■ 環境評価 ■ 環境政策 	<p>【1】 外的攪乱に対する多様性の役割</p> <p>予期せぬ外的攪乱に対してレジリエントな社会－生態システムを構築する上で、生物多様性は重要な役割を果たすことが指摘されています。例えば、作物の栽培品種の多様性が農業生産にどのような影響を与えるかは、農家や政府にとって重要な情報です。右図は、日本の稲作において各栽培品種が占める割合の時系列変化を示しています。特定の品種の占有率が高まる一方、これまでになかった新品種が少しずつ開発されてきたことがわかります。ここでの研究では、農業生態系は冷夏や病虫害発生等の外的攪乱に応じて生産構造が劇的に変化するものの、品種多様性の多寡はその生産構造の変化を緩和・抑制する効果があることがわかりました。栽培品種の選択には生産性と安定性の二つの視点が必要であることが示唆されました。</p> 
	<p>[共同研究者:山根史博(広島市立大学)、浅野耕太教授(京都大学)] 研究成果: Linkage between Crop Diversity and Agro-Ecosystem Resilience: Nonmonotonic Agricultural Response under Alternate Regimes, <i>Ecological Economics</i> 126, 23-31. https://doi.org/10.1016/j.ecolecon.2016.03.006</p>
<p>松下 京平 Kyohei Matsushita</p>	<p>[共同研究者:山根史博(広島市立大学)、浅野耕太教授(京都大学)] 研究成果: Linkage between Crop Diversity and Agro-Ecosystem Resilience: Nonmonotonic Agricultural Response under Alternate Regimes, <i>Ecological Economics</i> 126, 23-31. https://doi.org/10.1016/j.ecolecon.2016.03.006</p>
<p>経済学部 教授</p>	<p>[共同研究者:山根史博(広島市立大学)、浅野耕太教授(京都大学)] 研究成果: Linkage between Crop Diversity and Agro-Ecosystem Resilience: Nonmonotonic Agricultural Response under Alternate Regimes, <i>Ecological Economics</i> 126, 23-31. https://doi.org/10.1016/j.ecolecon.2016.03.006</p>
<p>【プロフィール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門分野 ・環境経済学 ・農業経済学 ● 略歴 ・1980 年生まれ ・2009 年 京都大学大学院 人間・環境学研究科 博士後期課程 修了 博士(人間・環境学) ・2009 年 4 月 滋賀大学 経済学部 講師 ・2011 年 4 月 滋賀大学 経済学部 准教授 ・2020 年 6 月 滋賀大学 経済学部 教授 	<p>【2】 農地森林生態系が有するレジリエンスの社会経済的価値評価</p> <p>植物にとって不可欠な花粉媒介を行う野生昆虫とその生息地の関係を検証する研究も行っています。下図は、花粉を媒介する昆虫の生息地としての農地周辺の森林面積の多寡が、農地における作物の授粉率に非線形の影響を与えることを示す図になります。ここから、野生昆虫の生息地としての森林の豊かさと花粉媒介サービスの関係を導出し、農地周辺の森林を保全することの社会経済的価値を明らかにしました。農業において生産の場である農地は手厚い保護政策の対象になりやすいですが、効果的な農業関連施策には農地周辺の土地利用も政策対象の射程に収めることが重要であることがわかりました。</p> 
<p>【主な社会的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 所属学会 ・環境経済・政策学会 ・日本農業経済学会 ・農村計画学会 	<p>[共同研究者:滝久智(森林研究・整備機構 森林総合研究)、山根史博(広島市立大学)、浅野耕太教授(京都大学)] 研究成果: Shadow Value of Ecosystem Resilience in Complex Natural Land as a Wild Pollinator Habitat, <i>American Journal of Agricultural Economics</i> 100(3), 829-843. https://doi.org/10.1093/ajae/aax075</p>
<p>【主な業績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Shadow Value of Ecosystem Resilience in Complex Natural Land as a Wild Pollinator Habitat, 2018 ・ Linkage between Crop Diversity and Agro-Ecosystem Resilience: Nonmonotonic Agricultural Response under Alternate Regimes, 2016 ・ Pollution from the Electric Power Sector in Japan and Efficient Pollution Reduction, 2012 	<p>企業・自治体へのメッセージ</p> <p>農業や環境の分野に関して調査をご協力頂ける自治体・企業を探しています。</p>